

# 南沢獅子舞



氷川神社（昼）



多聞寺（夜）

みなみさわし し まい  
南沢獅子舞は、江戸時代初期から旧南沢村に  
伝わる伝統芸能で、五穀豊穡と悪疫退散を祈願  
して奉納されてきました。

腹に太鼓をつけた三頭の獅子が舞う「一人立  
三匹獅子舞」の形式で、これに太刀、世流布、  
神楽、万歳の芸能も一緒に行われます。昔は南  
沢村の長男のみに限り伝承されてきましたが、  
現在は南沢在住の「南沢獅子舞連」によって4  
年ごとの秋祭り（10月中旬）に演じられます。  
当日は、午後に南沢氷川神社、夜に多聞寺で行  
われます。また、前日の夜には多聞寺で「揃い」  
と呼ばれる全体練習も行われます。南沢獅子舞  
は、貴重な伝統芸能として昭和42年に東久留  
米市無形民俗文化財に指定されました。

このパンフレットは、南沢獅子舞の演目の  
概要を解説したものです。

## 行列と踊り込み

獅子舞は宿から踊りこむ形をとります。現在は多聞寺（公会堂）で「仕度<sup>したくぶえ</sup>笛」の笛・太鼓に合わせて舞い手3人が衣装を着けて準備をします。その後、氷川神社まで「道<sup>みち</sup>笛」に合わせて①ほら貝②山の神③幟<sup>のぼり</sup>2本④高張<sup>たかはり</sup>2本⑤花笠2名⑥獅子⑦長持ちの順で行進します。神社に着くとおはらいをして、練り込み、鳥居前から山の神が先導して「踊りこみ」を行います。



## 太刀つかい

白抜きの升形紋をつけた印半纏<sup>ますがたもん</sup>の奴姿<sup>しるしばんでん</sup>の2人が木刀を腰にさし、右手に六尺棒<sup>やっこすがた</sup>をもって「ヤアーツ」と気合をかけあいながら力強く打ち合います。その後、木刀で打ち合う迫力のある太刀つかいです。そして、仲裁役<sup>せいいりふ</sup>の世流布が舞庭に出ると退場します。



## 世流布

世流布は「しばらく、しばらく」と言いながら登場します。歌舞伎十八番のひとつの「暫<sup>まねごとばい</sup>（しばらく）」の真似事芸で、形をつけながら口上<sup>こうじょう</sup>（こうじょう）を述べます。大きな太刀が特徴で、悪人退治の物語りです。口上は、氷川神社と多聞寺では内容が異なります。



## 神楽（おかめ・ひょっとこ）

神楽<sup>かぐら</sup>笛の前奏で「おかめ」がゆっくり登場します。次に道化面<sup>どうけめん</sup>、背中にすげ笠とすりこぎを背負った「ひょっとこ」が出てきて、2人が向かい合い、笛に合わせてユーモラスに踊ります。最後に抱えあうように退場すると、山の神が躍り出て、獅子舞となります。



## 獅子舞

獅子舞は一人立の三頭で、腹に太鼓をつけて舞います。赤の衣装が雌獅子です。紺の衣装が中獅子と大獅子です。中獅子は頭に金色と黒の四角い角を持ち、大獅子は頭に赤と黒のねじり角を持っているのが特徴です。

### ◆獅子舞の流れ

#### ①山の神の先導により雌獅子が登場する

山の神は「山の神面」をつけ、赤い上衣を着ています。右手に「はねうちわ」(軍配)左手に幣束を持っています。「幣負い(へいおい)」笛にあわせて舞いますが、3節舞ったところで山の神は退場します。

#### ②中獅子の退り(しゃり)

前奏の後に吹き切り笛で中獅子が登場します。腰をしゃがめて体をくねらせながら後ろにさがる「退り(しゃり)」を2度舞います。

#### ③大獅子の退り(しゃり)

前奏の後、高音部に入ると大獅子が登場。2度退りを舞います。3度目に中獅子と2頭で「助け退り(すけちゃり)」を2度舞います。

#### ④歌笛

雌獅子、大獅子、中獅子の3頭が輪になり笛→歌→笛→歌→笛の順で舞います。歌が始まると3頭は内側を向き合い、歌に合わせて太鼓のふちをコツコツと打ちます。歌の内容が氷川神社と多聞寺では異なります。



山の神の先導により雌獅子が登場する



大獅子の退り



歌笛

#### ◆氷川神社

千早振る 神の絵垣えがきに  
松を植えて 松もろともに  
氏子繁盛  
この獅子は 伊勢が生まれで  
江戸育ち 腰に差したる  
伊勢の御被おほい

#### ◆多聞寺

朝日差す 夕日輝やく  
この寺は 桜色なる  
ちごのたたれそ  
参り来て 奥の仏壇  
見もうせば 香の煙が  
ほのやかに立つ

#### 南沢獅子舞い歌

### ⑤ トーハヤロ（笛の音）

序盤：花笠の回りを3頭で舞います。

中盤：雌獅子<sup>めじし</sup>が花笠の後ろに隠れ、中獅子と大獅子が雌獅子を奪い合う舞をします。

終盤：雌獅子が出てきて、中獅子と大獅子が雌獅子の奪い合いをします。



中盤：雌獅子<sup>めじし</sup>が花笠の後ろに隠れ、中獅子と大獅子が雌獅子を奪い合う舞をする

### ⑥ タリロ（笛の音）

序盤：花笠の回りを3頭で舞います。

中盤：雌獅子<sup>めじし</sup>が花笠の後ろに隠れ、中獅子と大獅子が雌獅子を奪い合う舞をします。

終盤：雌獅子が出てきて、中獅子と大獅子が雌獅子の奪い合いをします。



終盤：雌獅子<sup>めじし</sup>が出てきて、中獅子と大獅子が雌獅子を奪い合う

### ⑦ 岡崎

岡崎ヒャーヒャーという笛の音になり、3頭の獅子は3拍子（足を3歩ずつ踏んでは前に進む舞方）で花笠を回ります。



岡崎：3頭の獅子が3拍子で花笠を回る

### ⑧ 三拍子

笛の3拍子によって、3頭がー列に並び、正面まで進んでは退くことを3回繰り返し、前に出たところで笛が切れると「拝」（礼）をして退場します。

## まんざい 万歳

万歳は多聞寺のみで行われます。獅子舞が終わると、太夫<sup>たゆう</sup>と才蔵<sup>さいぞう</sup>の2人が正面に出て、掛け合いで万歳を演じます。曲目は修験道の大峯入りを題材にした「大峯万歳」で、現存する江戸時代からの数少ない伝承例です。昔の言葉のまま行われており、内容は分かりにくいですが、コミカルな動きに笑いをさそわれます。



発行：南沢獅子舞連（東京都東久留米市南沢）

平成21年8月制作

制作協力：東久留米市教育委員会生涯学習課文化財係（東久留米市郷土資料室）

※無断転載はしないでください ※写真は平成17年実演のものを中心に使用しました（市教育委員会撮影）。